

取 議 発 第 2 8 号
令和 2年 6月 4日

取手市新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長 藤 井 信 吾 殿

取手市議会感染症対策会議
座長 齋 藤 久 代

取手市議会感染症対策会議からの提言及び調査について

標記の件につきまして、取手市議会感染症対策会議において協議の結果、下記のとおり提言するとともに、調査を求めます。

なお、執行機関におかれましては、通常の業務体制が維持できず、さらに新型コロナウイルス感染症対策の事務等によりご多用と存じますが、スピード感を持った対応及び速やかな回答を求めます。

記

○提言事項

1 議会として提言事項としたもの

(課題1)

高齢化社会におけるデイサービスや訪問介護など、各民間福祉事業所が「最後の砦」であることから、従事者と高齢者の感染防止のため、飲食店や中小企業、公共の福祉施設だけでなく、民間の福祉事業所にも活動するための支援が必要である。また、各民間福祉事業所はコロナ対策について手探りの状態で、民間同士の情報交換により活動している状況である。

(課題1 解決への提言事項)

民間福祉事業所への感染防止物品（マスク・感染防止衣・消毒液等）の配布及び感染防止を踏まえた活動の指標又は要領等を提示することを提言する。

(課題2)

コロナウイルス感染拡大時には、市民に対し市長や議長の動画によるメッセージ等を配信していることから、今後、良いタイミングを捉え市民全般へ謝意を表現することが大事と思われる。

(課題2 解決への提言事項)

県からステージ1へ緩和され制限が解除されたとき、市民へ協力のお礼と引き続き感染防止を要請するため、防災無線で市長自らが発信すること。また、医療関係従事者をはじめ様々な分野で頑張ってきた方々に対し、昼休み等の時間に横断幕（紙）や拍手で謝意を表現することを提言する。（議員も含む）

(課題3)

約4か月後の10月に予定している市制施行50周年記念行事について、実行か延期か中止かの判断する時期と考える。

(課題3 解決への提言事項)

取手市制施行50周年記念事業実行の可否を決定することを提言する。

(課題4)

他市が次々と一人1台のタブレット端末導入を推進しているなかで、取手市の児童生徒が教育環境格差により学力が劣らないよう、政府の考えに追従することで、教育面での子育て環境を向上させることが移住定住につながる。

(課題4 解決への提言事項)

第2次補正予算で、国で前倒ししてでも推進することを提唱している「GIGAスクール構想」に掲げられるタブレット端末の一人1台を実現することを提言する。

(課題5)

第18回取手市新型コロナウイルス感染症対策本部会議結果報告による次亜塩素酸水の無料配布について、その周知方法では、新聞を購読してなくて、パソコンやスマホ等でインターネットをやらず、防災ラジオを所有していない人は、この情報をどのようにして入手するのか。全市民に公平に情報提供するにはどうしたらよいか。

(課題5 解決への提言事項)

次亜塩素酸水無料配布の周知方法の手段に防災無線も活用することを提言する。

(課題6)

マスクを不要とする方から、不足している施設や団体へ寄附できたらよいとの希望があるため。

(課題6 解決への提言事項)

マスク寄贈コーナーの設置を提言する。

2 問題提起・確認事項

①公共施設等の開館に伴う各種団体別の使用マニュアルの作成をすべきと考えるが。

②5月22日に行われた臨時交付金活用の説明について

・分散勤務等推進事業

WEB会議サービス使用料は5月22日の専決、WEBカメラ等備品購入は定例会計上予定と時期が異なる。相談業務に使用するなら、備品等も専決で準備し、早急に業務を開始するべきでは？また、いつからWEB相談を開始するのか？

・要保護・準要保護世帯支援事業

給食費相当1食300円を支給するとして、定例会計上予定。

5月22日の専決ではなく、定例会に回した理由は？

③5月27日回答書中、確認事項④の外国人への対応について

・1,500人は、取手市に住民登録している方という認識でよいか。

・その他、登録されていないが在住している方の人数等は把握しているか。

④(意見)生活支援の部分が他自治体と比較して遅い。スピーディーな対応を望む。(回答不要)

以上です。